

GOVERNOR'S

Monthly Letter VOL.8

2012
February

ガバナー
月信

2

Rotary International
District 2800
2011-2012



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



国際ロータリー第2800地区【2011-2012年度】

ガバナー 細谷 伸夫 RI会長 カルヤン・パネルジー RI会長エレクト 田中 作次 RI理事 近藤 雅臣

奉仕は — 思いやりの心



2011-2012年度
国際ロータリー
第2800地区

ガバナー

細谷 伸夫
(山形西RC)

1. 1905年頃のシカゴは、低俗さ、貪欲さ、腐敗にまみれ、猜疑心の渦巻く町であったのです。ポール・ハリスはそこで「私達が皆かつて田舎町で味わった相互協力と打ち解けた親睦という非常に単純な構想が基本のクラブである」と自ら言わしめたロータリーを設立しました。その意味は「小さな町の心温まる雰囲気交流の実現でありました。そこに町の人々が互いに他人の心を察し、地域の人と調和して暮らす生活、他人を思う善意、他人を気遣う気持ちが根底にあったのです。この気持ちは日本流に言えば「思いやりの心」であるのです。ポール・ハリスはロータリーの創設の当初から思いやりの心のある交流、商取引を目指していたのです。
2. ロータリーは「職業」を中心に置いた職業人の集まりでありました。この職業に当初ロータリーは「Business」を使ってきました。Businessとは商取引の方法という意味です。それを途中よりVocationに変えました。大辞典によりますと、Vocationは特定の職業、天職、使命感、聖職を意味すると書いてあります。天職とは天から命ぜられた職業を意味し、天子が世を統治する為の職務を各分野に分けて人間に分業の担い手として与えられたものと考えられています（広辞苑）。そこには当然他人との関わり、他人との協力が前提となってきます。
従って、この職業という言葉の中には、当然、他人を思う善意が含まれていなければなりません。「もし善意というものがなければ、職業といっても、ただの金儲けに過ぎない」というわけです（前原勝樹PG）。この他人を思う善意とは「思いやりの心」ということが出来ます。
3. 「奉仕」という言葉は「サービス」を訳した

ものです。しかし、我々日本人からの感覚だと、どうもサービスと奉仕というのは多少にニュアンスが違うように感じます。

皆さんが旅行すると、時々気持ちの良い旅館やホテルに出会うことがあります。では、何故そこは気持ちが良いのか。皆一同に言うのは、「サービス」が良いもんねと言います。すなわち従業員の言葉遣い、立ち居振る舞い、心のこもった料理、客の心を察しての適確な先々への対応、行き届いた掃除、従業員の笑顔の良さなど、接待の良さにあるからといえます。小売店でも同じです。客に対し、客の気持ちを考えての商品作り、対応は気持ち良く買い物ができ、また来る力となります。この様な対応を一般に「サービス」の良し悪しといえます。しかし「奉仕」の良し悪しとはいいません。日本語で奉仕というと、「謹んで仕えること」という意味になります。すると職業奉仕といわれても、自分の職業や客に謹んで仕えるというのはいかにもピンと来ないものです。ですから奉仕はサービスがいいです。サービスとは客の気持ちを察して、求める事に対応することですから、それは客に対し思いやりの心で接することを言います。ですから奉仕と訳されるサービスとは思いやりの心を用いるのです。

4. 手続要覧（2001年版P.73）では、この「思いやりの心」を次のようにいっています。「ロータリーは職業奉仕という言葉を使用するにあたり、Service（奉仕）という文字をその一番広い意味で使っており、単に取引行為や商品を指すのみでなく、相手のニーズと境遇に対し正当な考慮を払い、他人に対しいつも『思いやりの心』を持つことも指しているのである」と論じています。

前原PGは、職業の意味に注目して解釈し、一方、手続要覧は奉仕の意味に注目して解釈しておりますが、いずれも職業奉仕というときの意味に変わりはないと考えます。すなわち、職業奉仕とは相手に対する「思いやりの心を持つこと」であるといっているとみてよいと思います。

5. この様に考えてみると、奉仕とは思いやりの心を意味すると考えることができます。

ガバナー候補者の推薦について

国際ロータリー第2800地区に所属するクラブにおいて、2014～2015年度地区ガバナーへの候補者がおりましたならば、国際ロータリー細則第13条（13.010.）（13.020.1./13.020.2/13.020.3）の各項を参照の上、地区ガバナー指名委員会（ガバナー事務所）までに推薦して下さいようお願い申し上げます。

〈推薦に必要な書類〉

- 1) クラブ会長、幹事の署名のある推薦書
- 2) クラブよりガバナー・ノミネーに推薦するというクラブの決議文
- 3) 候補者の履歴、ロータリー歴
- 4) 他のクラブの会員である場合は、その所属するクラブの同意書をお願い致します。



2011～2012年度
細谷 伸夫



2012～2013年度
和田 廣



2013～2014年度
新関 弥一郎



2014～2015年度
?

タイに 洪水災害義援金を贈る

地区内各ロータリークラブより義援金662,542円をいただきました。これに2800地区災害特別会計より加算し、1,500,000円を贈らせていただきました。皆様のご協力ありがとうございました。

上半期を終えて —— 〈ガバナー補佐報告〉



第1ブロック

上半期を終えて

酒田スワンRC 守屋 文夫

細谷ガバナー年度のガバナー補佐は平成22年11月13日(土)に第1回ガバナー補佐研修会、12月18日(土)第2回ガバナー補佐研修会・細谷ガバナーエレクト国際協議会出発歓迎会、2月19日(土)新旧ガバナー補佐・委員長会議、3月12日(土)PETSの前日、東日本大震災が発生山形市内の大停電でPETSは延期、5月15日(日)午前PETS午後地区協議会二日分を一日でこなすという慌ただしさでした。

第一ブロックは酒田・酒田東・遊佐・酒田中央・酒田スワン・酒田湊の6クラブですが、会員数20名以下のクラブが3クラブあります、過去に2クラブ（平田・八幡）が解散しておりますし緊急の課題として会員20名以上を目標に、各クラブとも目標に向けて会員増強に励んでおります。

公式訪問は7月13日酒田RCより順次スタートしましたが、各クラブでは年次計画書作成が時間に追われ大変でした。又公式訪問前日に徹夜で完

成させ、ガバナーの元へ無事到着といったクラブもありましたが、それに先がけ7月4日第一ブロック6クラブの会長幹事会を開催し、クラブ協議会・ガバナー公式訪問に付いてはクラブ活動計画書、効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標（6月中にガバナーへ郵送）等に付いて打ち合わせを行い、来る公式訪問に備え準備いたしました。また、第一ブロック公式訪問最終日に第一ブロック6クラブ会長幹事とガバナーが一堂に会し、ガバナーより総括を頂き心あたらに今年1年のクラブ運営を誓い合いました。

8月20日(土)に開催された米山奨学セミナーで、第一ブロックは米山奨学会への関心及び米山奨学生との関わりが少し希薄との指摘がありましたので、各クラブに特段のご配慮をお願いいたしました。

IM・6クラブ合同例会はガバナー月信1月号に掲載されました通り、ホストクラブの酒田スワンロータリークラブのすばらしい企画の元に有意義な会が出来ました。

これからも、当初の目的に向かい残すところ6か月皆さんと共に『仲間を増やし、仲間と共にロータリーを楽しもう』を目標に、一生懸命頑張りますので今後ともどうぞよろしく願いいたします。



第2ブロック

各クラブの絆を深く

立川RC 清野 義勝

ガバナー補佐に就任して早くも上期を終了することができました。昨年の3月11日の大震災は、かつて経験したことのない未曾有の大災害であり、その対応に追われる中でのスタートであっただけに目まぐるしい毎日を過ごしたように思います。

それでも第2ブロック、会長・幹事皆様のご協力のもと各クラブ3回訪問させていただき、ロータリアンの友情と絆を深めることができ感謝しております。

今年度は細谷ガバナーの公式訪問の前にクラブ協議会を開催し、あらかじめクラブの特徴や課題について、また、年次計画についてざっくばらんに話し合うことができ有意義な例会訪問となりました。

7月5日鶴岡RCを皮切りとして6クラブを細谷ガバナーより公式訪問をいただき思いやりの心で職業奉仕を実践する大切さを教えていただき感謝しております。7月11日には細谷ガバナーの歓迎会を開催し、ガバナーとブロック内の会長・幹事が親しく懇談し交流を深めることができました。当日、鶴岡西RCの公式訪問の日でもあり、例会終了後に細谷ガバナーに同行させて頂き、今は亡き、加藤有倫パストガバナーの御仏前に献花させていただき在りし日の面影を偲ぶことができましたことも忘れることができません。

12月3日、鶴岡グランドエル・サンにて細谷ガバナーのご臨席のもとIMを開催いたしました。IMリーダーの石黒慶一パストガバナーには、適切なご指導を賜りました。

基調講演は講師に庄内町観光協会観光専門員の中原浩子氏をお招きし、庄内の魅力について解り易くお話を下さり、日本の原風景の素晴らしいものがこの庄内にたくさん実在していることを改めて認識させられました。

新しい年を迎え、いよいよ下期。GSEの受入れや地区大会、そしてライラ研修と大きな行事が盛りたくさん控えています。最後まで気をゆるめることなく責任を果たすべく頑張りますので、皆様のご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。



第3ブロック

上半期を終えて

天童東RC 新関弥一郎

第三ブロックに限らず、前期の大きな事業はガバナー公式訪問が挙げられます。公式訪問前の補佐の役目として、何度か担当クラブを訪問し、クラブの年次計画報告書に訪問レポートを添えガバナーに報告することです。これまでのメイクアップ例会出席と違い役目として、緊張を持って出席しレポートを書かせてもらいました。

同時に、クラブ会長にクラブ運営のためにRIが求めている「効果的なRCとなるための活動計画の指標」を書いていただきガバナーに提出、公式訪問でより適切なガバナー指導を得られ、クラブがより活性化が図れるようにお願いしました。

公式訪問での例をあげれば、天童東RCのクラブの活気に比べ低い出席率の改善指導や、東根中央の社会奉仕の視野を広げる方法など、適切なガバナー指導がありました。

前期のもう一つ大きな事業としてIM開催（ホストクラブ天童東RC）が挙げられます。今回は東日本大震災に関わるIMを計画し、講師の選定に紆余曲折がありましたが、野川、塚本、佐藤PGのお力を得、陸前高田市で支援に活躍中の水戸RC会員の秋山現信氏と前第3ブロックAGで「一本松の本」に関わった天童RC松村澄男氏にお願いしました。

150名の参加で10月22日に開催されたIMは予想以上の好評を得ることが出来ました。ブロックとして約25万円、それに、天童西RCが震災で中止にした20周年記念行事資金の中から20万円を寄付していただき、秋山氏の今後の活動のために支援出来ましたことは特筆すべきことです。

4月のGSEの受け入れではブロック内を3つにわけそれぞれの地区のクラブ共同して受け入れる準備も整いましたので、下半期も順調に推移することと思われれます。



第3ブロック

上半期を終えて

村山ローズRC 齊藤 勝典

ガバナー補佐として半年が過ぎました。各クラブの協議会やガバナー訪問では皆様には大変御世話になりました。多くのロータリアンの方々とお会い致しまして多くの事を学ぶ事が出来ました。各クラブとも伝統を守り、そして改革にと意欲的に活動されている姿を拝見致しまして感動を覚えております。

R I の会長のテーマに沿って2800地区の目標、各ブロックの在り方そして基本の各クラブの運営をどうするか会長、幹事の皆様の御努力に感謝申し上げます。

ロータリーは良き職業人の集まりと言われます。自分の生業に誇りを持ち、倫理を守り、各職業を担って社会に奉仕する。簡単なようで難しい課題を背負っているのがロータリアンと思います。個々のクラブがロータリーの基本です。それぞれ応分の奉仕を致しましょう。そしてロータリーを楽しむためにロータリーを学びましょう。

「真実かどうか」

「みんなに公平か」

「好意と友情を深めるか」

「みんなのためになるかどうか」

後半期皆様方の御協力と御指導を宜しく御願致します。



第4ブロック

上半期を終えて

河北RC 上村 徹也

平成22年11月13日に第1回目の次期ガバナー補佐研修会が山形市の緑町会館で行われました。それが実質ガバナー補佐に向けてのスタートでございました。

その後各種のセミナーが行われましたが、東日本大震災のために延期になったり日程の変更もありましたが、すべてに参加させて頂きました。

ガバナー補佐としての仕事は、第4ブロック内5クラブを訪問し会長、幹事と打ち合わせを行いまして、その後30分スピーチをさせて頂きました。第1回目がホームクラブの河北RCでございました。順次各クラブを訪問させて頂きました。その間、ガバナーの公式訪問が始まりました。8月8日に河北RCが第4ブロックでは1番最初に行われました。そして最後の訪問が10月5日の西川月山RCでございました。昨年夏も大変暑かったのでありますが、細谷ガバナーは疲れも見せず精力的に各クラブを訪問してくださいました。訪問例会の際は、例会の前に1時間以上たっぷり時間をかけて各会長、幹事に適切なアドバイスを与えてくださいました。これは大変有意義だったと思います。私自身も大変勉強になりました。ここまで来てほっと一息もつかの間、11月12日に河北RCがホストクラブとして第4ブロックのIMが行われました。今年度のIMのプログラムは3.11の東日本大震災の復興に今、国を挙げて行われているさなかでありますのでこの時節にあったテーマで記念講演を企画させて頂きました。先ずお一人目は、ロータリーに大変ご造詣が深い安孫子パストガバナーにお願い致しました。テーマは「今、ロータリアンに求められているものは」でした。大変中身の濃い素晴らしいお話でございましたので、ロータリーの神髄に触れた思いが致しました。お二人目は山形大学理学部の岩田高広教授でございました。「原発事故に伴う放射能汚染と対策」と言うテーマでお話を頂きました。大変分かりやすく説明をしてくださりましたので、すべてのお話が大変興味深く聞いて頂いたのではないかと感じております。第2部の懇親会にもほぼ全員の方にご参加頂きました。大いに盛り上がりまして親睦を深める事が出来たのではないかと感じております。

振り返って見ますと、第4ブロックのそれぞれのクラブは素晴らしい運営をなされており、ロータリアンの皆様も素晴らしい方々ばかりでございました。私も皆様に支えられてここまでやって参りました。下半期もどうぞ宜しく御願致します。



第5ブロック

上半期を終えて

山形北RC 本多 信昭

ガバナー補佐の何たるかを理解しないまま大役を引き受ける事になりました。

ガバナー補佐としての勉強の場である地区協議会もPETSも3月11日におきた東日本大震災の影響もあり順延となり例年より1ヶ月ほど遅い開催となりました。

同時に開催された地区協議会・PETSにおいて「ガバナー補佐・要覧」なる冊子をいただきました。それによりますとガバナー補佐の心得として就任前に「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」に基づきPETSにおいて担当クラブの会長エレクトと、また地区協議会においてはクラブの指導者チームとの会合を持つ事が推奨されておりましたが、十分な時間も無く残念ながらその場を設ける事ができませんでした。

戸惑いながらもこの様な準備不足の中でスタートしてしまった年度でしたが、担当クラブの皆さんには、大変温かく迎えていただきました。

7月19日山形南RCのクラブ協議会を皮切りに山形北RC・山辺RC・中山RC・山形RCのクラブ協議会への出席と細谷ガバナーの随行人として各クラブの会長・幹事との懇談会、並びに公式訪問に同席させて頂きました。山辺・中山では、公式訪問に先立ち役場に町長さんを訪問させて頂きました。この様な経過を得て上半期が終了しましたが、下半期も大きなイベントがあります。2月25日には第5ブロックのI.M.が開催されます。テーマを「思いやりのこころ」・震災に学ぶとしてNHK仙台放送局の津田喜章アナウンサーにご講演をいただきます。一般公開ですので会員はもとより、大勢の方々に聴講して頂きたいと思っております。4月1日には地区最大の行事であります地区大会が開催されます。担当ブロック山形市での開催ですので大会の成功を期すべく努力をして行きたいと思っております。下半期も宜しく願いいたします。



第5ブロック

上半期を終えて

山形西RC 坂部 登

東日本大震災により、PETの開催が延期され、各クラブの方針などのスタートが遅れましたが、前半期を振り返り、各クラブともスムーズなスタートと、大変充実したクラブ運営がなされている事を感じます。また地区の各セミナーに対しましても積極的に参加をしていただき心から感謝申し上げます。

災害復興への地区・各ブロック・各クラブの奉仕活動は、それぞれの環境に応じて、いろいろな形で行われており、ロータリアンの思いは、心一つにしっかりと地に足のついた活動をしておられ、改めて敬意を表します。

今年、各クラブを訪問させていただき、また公式訪問も無事終了して、各クラブには、創設から今日まで、それぞれの生い立ちがあり、同じ人間でも顔や性格が異なるように、各クラブの特徴をしっかりと感じる事ができました。

また、ロータリアンとして、一人一人の会員がその年その年のクラブの役割を受け止め、その責任をしっかりと果たしている姿に、クラブの活力を感じました。

後半は、それぞれの奉仕活動の成果を対外的にアピールし、会員拡大につながる方向に結び付けばと思います。

私自身、ガバナー補佐としての役割は荷が重すぎますが、第5ブロック担当クラブを訪問させていただき、これからのロータリーライフに大変貴重な経験をさせていただいております。

引き続き後半期を、よろしくご指導お願い申し上げます。

さて3月31日、4月1日は、地区大会が開催されます。多くの会員の皆様に御参加いただき、1年間のロータリー活動を振り返り、その集大成になればと思います。簡単ですが前半期に感じた事を述べさせていただきました。



第6ブロック

上半期を終えて

川西ダリアRC 黒澤 巖

ガバナー補佐の大役をお受けするにあたって、実のところ大変気が重かったのですが、約半年を経過して、「人生、時折は無理してみるものだ」と思い直しています。補佐の任に無ければ、細谷ガバナーの卓話を、これ程身近に、そして都合6回も拝聴することはかなわなかったでしょう。

「ロータリーの奉仕は何のためにするのか」「そもそもロータリーは何をするために在るのか」という疑問は、入会してから長く私の胸の中に未消化のままくすぶっていました。

今日も、古い友人であるNGOの仲間たちは、自らの人生を賭して困難な地域で活動しています。社会開発や職業訓練、技術移転、教育、自立促進など多くの分野にわたりますが、その土地に、このような活動を喜ばない勢力が存在する地域や、民主主義が未熟な地域では暴力的な反発を受けることもめずらしくありません。

それに比べ、私はいったい何をしているのか。ただ毎週昼食を摂りにでかけているにすぎないではないか！ロータリーの友人たちは気の良い人たちばかりだけれど、常に私の中には愉しまない気分が残っていたのです。

9月、10月は決算議会と収穫作業が重なる地獄の季節ではありますが、私には公式訪問のお供をするのが楽しくて仕方ありませんでした。「ロータリーの奉仕は社会改革を目的とする」との細谷ガバナーの発想の明快さには心から敬服し、賛意を表します。積年の屈託を晴らしていただいたことにも感謝しなければなりません。

公式訪問は11月2日の米沢中央で終了し、IMも成功裏に終わりました。後期には、職業奉仕セミナー、GSE、地区大会です。残された任務を確実に果たし、ガバナーに恩返しをと考えています。



第6ブロック

上半期を終えて

南陽RC 網代 欽二

第6ブロックガバナー補佐を拝命して早や6ヶ月が過ぎました。年度前の地区協議会で細谷ガバナーからRI会長のメッセージロゴマークのイメージが蓮の花（心の形）とオレンジの玉博愛であること、私が地区テーマとした思いやりの心と一致して感動で胸の高鳴をおぼえたことと云っておられたことが今でも心に残っています。

今、ロータリークラブがなすべきことは、ロータリーの原点に立ちかえり、自分自身の歩んで来た行動を見つめ直す時であると云われました。私も長年ロータリークラブに入って何をして来たのだろうか、反省することの多い日々でありました。しかし今何をなすべきか、ガバナーの思いを伝えるのが私の勤めだと思い、各クラブでの指導に活かしてまいりました。クラブの得意とすること（実践力）を伸ばすこと・例会はロータリーの道場である・ロータリーを知る最も大切な場所であること・フォーラムは年4回以上開催する・新会員セミナーの開催・会長は挨拶の中にロータリーの話を入れる（情報）・地域社会とのコミュニケーションをとること・外部卓話と会員卓話の充実（親睦）・地区セミナーの出席者はクラブでの報告会をかならず行う…などガバナーの方針を説明し、各クラブの活動方針や意見を聞きながら勉強してまいりました。一番心配したことはガバナーの方針に添った話しが出来たかどうかでありました。ガバナー訪問では各クラブの会長幹事会でのガバナーの指導とくい違いがないか確認しながら、心配したり安堵したりの私でありました。しかしながら各クラブ訪問先の皆様方は融和で非常に協力的で歓迎されたことで一番の充実感を味わうことが出来ました。ほんとうに有難うございました。

また第6ブロックインターシティミーティングは米沢おしょうしなクラブがホストとなり、今話題の小惑星「はやぶさが拓いたロマン」と題して宇宙航空開発機構名誉教授上杉邦憲氏（上杉17代当主）の特別講演会が10月8日伝国の杜で開催されました。地球から3億km離れた長径わずか500m足らずの小惑星イトカワに挑んだはやぶさ。画像を入れながら解説付の講演には皆感動を覚え、すばらしいものでした。米沢上杉城史苑で大懇親会が催されブロックの親睦を深めました。

東日本大震災は生々しい傷跡を残し、今だ復興の兆しが見えず、各クラブからは第二回目の義援金を戴き、クラブ支援と地区の支援と2本立てで復興支援をしてまいりました。今後一日も早い復興を願いたいと思います。まだ半年あるわけですが、これまでのご協力に感謝申し上げ、2800地区皆さんの益々の御健勝をお祈り申し上げます。

上半期を終えて——〈各委員長報告〉

東日本大震災復興支援委員会



東日本大震災 復興支援委員会報告

東日本大震災復興支援委員会 委員長
直前G・鶴岡RC 塚原 初男

1. 第1回委員会

第1回委員会報告は10月号で掲載させて頂きましたので、第2回以降を報告させて頂きます。

2. 第2回委員会

9月11日、緑町会館で開催され、以下の報告等があった。

(1) 2520地区（宮城県）訪問報告

8月29日、2名（塚原、守屋）の委員が菅原一博G、桑原茂PGを訪問、世界的に殆ど類例の無いと言っても過言でないところの被災による休会RCが複数あること、その再起支援のほか、被災幼稚園児を含む児童・生徒・学生の教育環境改善支援、用途の指定されない金額支援、被災地のための復興市（いち）の開催支援など、具体的な要望を資料に基づいて伺うことが出来た。

(2) 2520地区（岩手県）訪問報告

8月30日、2名（塚原、武田）の委員が楢山直樹直前Gを訪問、5月10日現在の被災状況、自地区としての支援状況について詳しい説明を受けた。

その結果、2520地区には、ロータリアンへの緊急支援、ミニ教育環境改善のための緊急支援、ミニ5 for 1 緊急支援について、いずれも必要性の強いことが判明した。

(3) 前年度ガバナー会義援金の返戻額とその取り扱いについて

前年度、一旦は当地区から納入した前年度ガバナー会への義援金計782万6,250円のうち、既に、被災地区への見舞金負担金として差し引かれた91万8,833円を除く残額690万7,417円を、当地区は返戻申請することになった（後日、同金額が当地区に返戻された）。

この返戻義援金の取り扱いについて協議の結果、災害特別会計から9万円余を補充して700万円とし、前年度ガバナー会の2支援計画案、すなわち被災児童教育環境改善及び5 for 1の両プログラムに沿う支援計画、並びにその他の復興支援計画を持つ2520地区に、全額届けることになった（後日、細谷G及び尾形地区幹事が2520地区菅原Gに贈呈。

写真参照）。

(4) 2530地区訪問予定について

当地区からの訪問の呼びかけに対し、ご多忙の余地余り応じて戴けなかったため、訪問出来る機会を待つて、再度、復興支援のための委員訪問を予定することになった。

(5) ロータリー東日本震災復興基金（略称小沢一彦基金）への募金の取り組みについて

協議の結果、今年度は様々な事情により、上記基金への地区としての募金活動は実施しないことになった。

(6) クラブ復興支援予算額の配分について

表記予算額767万円の配分については、各クラブからの申請書に基づいて当委員会が審議し、配分額を決定することになった。

(7) 復興市の開催について

2520地区より要望のあった復興市（または復興支援市）のイベント時の同時開催については、要望に応じて、2012年3/31～4/1開催予定の当地区の地区大会、その他の各種イベントでも開催を推奨し実施することになった。



3. 第3回委員会

11月14日、当地区内各クラブから申請のあった所謂クラブ復興支援予算額の配分について協議を行なった。

(1) クラブ復興支援予算額の配分について

①ロータリアンだけに限定する支援は行なわない。
②ロータリアン以外の一般人への支援は行なう。
③ロータリアン及び一般人への分け隔てない支援は行なう。以上の3点を原則として、支援予算額の配分を決定した（資料参照）。

(2) 復興市の開催について

11月2日の地区新世代フォーラムにおいて、復興支援のための第1回ロータリー地区復興市が2520地区塩釜東RC（佐々木正樹会員他）のご協力を戴きながら同時開催され、盛会裏に終始した。

資料：東日本大震災復興支援企画

*実施済み

	事業名	実施RC	支援先	金額
1	仮設住宅の断熱スプレー支援	天童西RC	宮城県石巻地区	450,000
2	アニマルセラピー	山形RAC	2530地区・同RAC共同	470,000
3	少年野球大会	山形7RC	宮城県の被災した少年野球9チーム	519,238
4	炊き出しボランティア(山王公民館)	南陽臨雲RC	宮城県(山王公民館)	60,000
5	炊き出しボランティア(多賀城)	南陽臨雲RC	宮城県(多賀城市)	110,000
6	クリスマス家族会に被災者招待	南陽臨雲RC	被災者・子供	300,000
7	灯油券配布	鶴岡東RC	鶴岡市に在住する被災者	320,000
8	みかん寄贈	上山RC・中山RC・山辺RC 地区・新庄あじさいRC	宮城県のパリス保育園	整理中
9	野球ユニフォーム寄付	南陽東RC	2520地区大船渡・大船渡西RC	200,000
10	名取RC会員慰問	上山RC	名取RC	300,000
11	炊き出し支援	鶴岡西RC	石巻市	42,000

*今後の予定

計 2,771,238

	事業名	実施RC	支援先	金額
1	表札づくり支援	余目RC・立川RC	第2520地区佐沼RC	467,750
2	復興支援イベント イン オランダ	天童東RC	第2520地区陸前高田RC	550,000

計 1,017,750

合計 3,788,988

4. 第4回委員会

1月16日、前回に続いて、当地区内各クラブから申請のあった所謂クラブ復興支援予算額の配分等について協議を行なった。

(1) 復興支援予算額の配分について

前回承認された11項目に続いて、2項目(余目・立川2RCの表札づくり支援と天童東RCの陸前高田復興支援イベント イン オランダ)が原案通り承認された。

その結果、10万円前後の未整理支援事項は残るものの、合計配分総額は約400万円前後となり、当地区予算の残額は767万円—400万円=367万円前後になる。

(2) 残額予算の配分について

細谷ガバナーより、上記予算残額の支援先について提案があり、協議の結果、当地区大会本会議において、特に被災の甚大であったR I 2520及び2530両地区に対して各100万円、合計200万円の支援金を贈呈することになった。その結果、当地区予算額の残額は167万円になる見通しとなった。この残額の取り扱いについては、今年度の最終には地区災害特別会計への繰り入れ意見があったが、事態の推移を見ながら、あらためて検討することになった。

(3) その他

a. 当地区大会開催時における復興市の同時開催について

当地区大会第2日目の4月1日にも、復興市を同時開催する意見があり、協議の結果、新たに実行委員会を編成して同時開催することになった。

地区大会復興市実行委員会(仮称)の委員長は本多伸昭委員、副実行委員長は上村徹也委員が担当し、併せて、当実行委員会委員には全委員会委員のほか、今後新たに各ブロックから選出される実行委員若干名よりご協力願うことになった。

b. ロータリージャンパーの製作について

上着1着1,500円前後で製作可能であることが紹介され、地区名入りで製作し、上記復興市実行委員会委員が全員着用して復興市に参加することになった。

c. 被災地区RCの姉妹・友好クラブ締結情報について

細谷ガバナーより、被災地区RCの姉妹・友好クラブ情報が紹介され、今回の支援活動を契機として、今後、当地区クラブ対被災クラブ姉妹・友好クラブ締結への発展のためにも、全クラブ宛、その情報を紹介して戴くことになった。

クラブ管理運営委員会



上半期を終えて

クラブ管理運営委員会 委員長
山形中央RC 金子 昌弘

今年度の細谷ガバナーの方針であるロータリーの研修の充実・強化に従い、上半期は特に研修の実施とプログラム(卓話)の充実に力を入れてまいりました。

年度スタートの7月9日にクラブ管理運営セミナー

を実施し、ゾーンIコーディネーター補佐の曾我隆一R I D2840 P Gより基調講演をしていただき、石黒慶一P G・細谷政子ガバナー令夫人にも講師を努めていただき充実したセミナーを開催することができました。各クラブの運営に大いに役立つ内容であったと思います。

また、情報・研修・I C O小委員会では10月1日にロータリー情報研修セミナーを開催しました。クラブリーダー候補者と5年未満の会員を対象にした内容で、塚原初男直前ガバナー・豊田義一P G・我孫子貞夫P G・大久保章宏直前ロータリー情報小委員長に講師を努めていただき、細谷ガバナーの意に添った素晴らしい内容でありました。また、ホームページ運用状況についてもアンケートを実施し集計結果を報告しております。

プログラム小委員会では各方面から情報を収集し、3ヶ月に一度ゲスト卓話候補一覧のリストを作成し、各クラブのプログラム（卓話）の充実に一役買っております。

このリストを活用し各クラブのプログラムが増々充実することを願っております。

親睦・家族小委員会では、年度スタート時に、家族とともに実施している行事をアンケート調査し、各クラブの参考にさせていただいております。

以上のように当委員会では、各クラブの活動が活性化できるよう、各クラブのお役に立つべく、この上半期充実した活動を実施してまいりました。残りの下半期も一生懸命取り組んでまいりますので、皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。



上半期を終えて

ロータリー情報・研修・I C O小委員長

酒田スワンRC 赤谷 典夫

地区ロータリアンの皆様のご協力により、半期の計画を何とかこなすことができましたこと、感謝申し上げます。

当初計画に基づき、将来クラブリーダーとされる経験豊かな会員、並びに新入会員の皆様を対象とした研修セミナーを10月1日に山形ビッグウィングにて133名の参加をいただき実施いたしました。クラブリーダー向けの第2回目は1月21日に山形グランドホテルにて開催の予定です。

さて、先駆けて7月に各クラブのホームページの運用状況、並びに新入会員に対するロータリー情報研修の実施状況についてのアンケート調査を

行い、その結果を第一回目のセミナーにおいて各クラブにレポートとして配布いたしております。

ホームページの開設は52クラブ回答中の23クラブがすでに運用しており、5クラブが開設準備中と、かなりのサイトが地区内に存在いたします。その反面、半数は未定としており、これらはクラブ規模、ペーパーで十分、更新と費用が負担、と回答するなど、マンパワーが投入できるクラブが積極的な運用を進めている状況にあるようです。尚、レポートにはホームページ開設アドバイザーとしてのロータリーメンバーのリストも同時に掲載してありますので参考にさせていただけたら幸いです。

ここ数年、地区内の各クラブの新人研修は消極的な傾向がみられ、アンケートの結果でも51クラブ回答中、1年以内に実施したクラブは37.3%、これに対して3年以内に研修を行っていないクラブが39.2%の高い比率となっており、当小委員会としても、新入会員向け研修の必要性を感じ早速、第一回目のセミナーにて実施した次第です。しかし、これにつきましては各クラブにおいても定期的な新人研修の機会をより多く設けていただく必要があるのではと強く感じた次第です。

細谷ガバナー、研修リーダー、カウンセラー、講師をお引き受けいただきましたパストガバナーの皆様、そして当小委員会の運営にご協力をいただきました皆様に改めて感謝申し上げます。



熱はいる卓話の充実

プログラム小委員会 委員長

山形西RC 堀田 稔

各ロータリークラブのプログラム担当委員会の皆さんは、毎週の行事予定をどのように組むか、大変ご苦労されているように思われますが、いかがでしょうか。魅力ある、全員が参加したくなる企画づくりに腐心されているようすが、ガバナー事務所に送っていただいている「週報」「会報」から伝わってまいります。

当プログラム小委員会は、細谷ガバナーが特に力を入れていきたいと、“卓話の強化”方針を打ち出され、スタートしました。例会におけるゲスト卓話、会員卓話、特別行事などでの特別講話。そこに2800地区としてなんらかのお手伝いはできないか、というものです。

卓話をしてくれる候補者リストをつくり、各クラブの担当者に送ってまいりました。1回目（6月）は、行政、経済、芸術、文化、スポーツ、女性活

動家、メディアなど、それぞれの関係部門の協力を得て、卓話候補者73件をリストアップ。2回目(11月)は、各クラブから送っていただいた週報・会報の中から、全県に共通して卓話していただけるような方々を中心に、49件の候補者を紹介させてもらいました。たくさんの方の卓話内容を拝読しながら、できるだけ多分野にわたるようにしていきたいと。例えば、

▼160キロ7時間自転車走行のホノルルセンチュリーライド体験の会員▼アイディアプロモーター女子社員の「山形の女子力」▼浜田広介研究を続ける103歳人生▼小惑星探査機はやぶさが拓いた宇宙ロマンを語る上杉家当主▼断酒会レポートの民放女子アナ▼変わる災害報道、変わらない災害報道のNHK幹部▼庄内映画村にける経営者▼翻訳を通じて知る出羽の国をテーマに山寺芭蕉記念館勤務の女性外国人▼山形の酒とワインを世界に、という県工業技術センター研究主幹▼放射能時代を生きると山形大教授、などなど。

卓話候補者には、直接折衝していただいてもいいし、ガバナー事務所で橋渡し役をしてもいいようにしております。紹介してほしいという問い合わせもこれまで多々ありました。ガバナー公式訪問時には直接、要望もあったようです。これから下半期に向けて、先々のプログラムづくりに役立つよう資料を集めていきたい。各クラブからの推薦も積極的にお願いしたいと思っております。皆様のご協力をお願いします。

会員増強・広報委員会



上半期を終えて

会員増強広報委員会 委員長
米沢おしょうしなRC 佐藤 和男

6月19日2800地区会員増強・広報セミナーからはじまり早いもので半年もなりました。

当初のセミナーにおいて基調講演を頂いた2010～2012年度アシスタントコーディネーターの小船井修一氏の「ロータリーの魅力と会員増強」と題してご講演いただきました。その中でロータリーとは一般市民が解る様に奉仕活動を広報に出せる様に努力して下さい。

細谷ガバナーの地区目標の「思いやりの心を育て広めよう、自分に、家庭に、地域に、世界に」に乗っかって、回りに気を配り、相手の家庭状況を思いやり、入会の案内をすると心を開けて下さる。

地区カウンセラーパストガバナー佐藤豊彦氏が
(1) クラブの充実と強化(会員増強が入ります)
(2) 社会認知(広報)

に力を入れる様にと明示されました。特に会長が率先垂範してクラブ運営が出来るよう、そして、会長自ら会員増強をしてほしい。

細谷ガバナー、佐藤カウンセラーから、各クラブ1名の増強の要請がありました。又クラブへ

10名以下のクラブは10名の目標
20名 " 20名 "
30名 " 30名 "

以上の目標を持って頑張ってください。

セミナーの時、各クラブへ1部配布した新会員へのオリエンテーション「ロータリーへようこそ」も解り易く良かったと情報が入って来て良かったと思っております。私自身も非常に勉強になり、国際ロータリーで、わかりやすい長期計画(3年位)が明示されております。

会員各々がロータリーを理解され、好きになって入会を進められ、特に若い人や女性会員の増強を図っていただきたい。

上記のような私自身をお願いする事が8月の会員増強月間で8クラブにお伺いしお話ししました。クラブによっては増強ではなく中身であり充実だとも言われ反省しております。

最初に戻りますが、小船井コーディネーターがおっしゃられた人口比率で計算されますと2800地区は1万人当たり14.8人で全国1位です。心強く思いました。

今年度7/1の会員数が1,639名ではじまりましたが11/30現在1,655名、少しずつ増加しており後半においても各クラブに連絡しあい目標達成に向けて頑張っていきたいと思っております。



リーフレット ご活用下さい

広報・雑誌小委員長
山形西RC 長澤 裕二

「山形県のロータリークラブ奉仕活動」というリーフレットを作りました。これは、R.C.の紹介リーフレットの全国版は毎年作られているけれど、山形県のR.C.がどんな奉仕活動を行っているか、一般の方々に紹介するものがないということで、広報小委員会の今年度の目玉事業として実施したものです。

年度が始まってすぐ、「あなたの倶楽部の奉仕

活動をお知らせ下さい」と各クラブにお願いしましたが、ほとんど応募がありません。「善行はあらわれるもので、あらわすものではない」とか、「せっかくの善行も、宣伝したら価値が落ちる」といった考え方が根強く、自分たちの奉仕活動を外部に宣伝するという志向がほとんどないからだと思われれます。

しかし、私もR.C.に入る前は「何をしている団体なのか、さっぱりわからん」でしたし、私の職場の部下たちのR.C.観も、「社長は毎週、食事会に出かける。そして時々、夜の飲み会もある」といった程度なのです。知らせなければ、理解は生まれません。

さてリーフレットですが、結局「あなたのクラブのこの活動の写真を送って下さい」と具体的に活動内容を指定して資料を集めるしかありませんでした。つまりは、私たち委員会が知り得た範囲での「山形県のロータリークラブ奉仕活動」になった訳です。今回紹介出来なかったクラブの奉仕活動も盛り込んで、毎年新しいリーフレットが作られることを期待します。そして、こんな活動に参加できるなら私もロータリーに入ろうと、会員拡大に役立つことを願っています。

山形県のロータリアンは、こんなに素晴らしい、多様な奉仕活動を展開しているのです。そのことが3分で伝えられるリーフレットになっています。大いにご活用下さい。

社会奉仕委員会



上半期を終えて

社会奉仕委員会 委員長
天童東RC 村山 征彦

今年度、社会奉仕委員会は単独の委員会となりました。事業計画として2011年「国際森林年」にちなみ、会員に地球規模で減少していく、森林資源に対する共通の危機感を持ち、森林の持続可能な循環型資源を活用し、守りそして育てていく運動を提案しました。

この事業を進めるにあたり、平成23年7月23日に塚原初男直前ガバナーを講師に迎え、「国際森林年・地球は今・・・」サブタイトルとして一ロータリアンへの期待と役割—をテーマとして、社会奉仕セミナー基調講演をいただきました。（詳細はガバナー月信9月号）又、講演のあと、講師を囲んで参加者と懇談会を開催し、質疑、情報交換

と有意義なセミナーになり、年度初め素晴らしいスタートを切ることが出来ました。

委員長として9月に長井RCと天童西RCで、この事業の趣旨説明、PRを兼ねて卓話をする機会をいただき有難うございました。

11月9日（水）社会奉仕委員長として、山形北RC主催の「水源涵養林植樹プログラム」に参加させていただきました。ブナ、ミズナラ、イタヤカエデと落葉樹350本の植林事業でした。当日は、晩秋の寒い日でしたが、水の涵養は、森林の持つ重要な役割の一つだと、きずかさせていただきました、大変勉強になりました。植樹後、例会にも参加させていただきました、会員の皆さんに感謝と敬意を申し上げます。

11月25日（金）午後から尾花沢市民雪研究会の主催「第11回尾花沢雪対策シンポジウム in 尾花沢中・宮沢中」が尾花沢中学校で開催され、これに飛び入り参加して来ました。国土交通省の担当者から、豪雪地帯の現状と対策についての講演があり、その後、地元住民と中学生たちによる意見交換会がありました。同じ豪雪地帯に生きるもの同志が、お互いにボランティア精神を發揮し、この冬を乗り切ろうとする気構えを、中学生も持ち合わせていることを肌を感じ、心地よい気分させられ有意義でした。

社会奉仕委員会今後の事業は、武田和夫カウンセラーの指導のもと、三澤担当副幹事と委員会を開催し、決定していきたいと思っております。ご協力よろしくお願い申し上げます。

職業奉仕委員会



上半期を終えて

職業奉仕委員会 委員長
米沢中央RC 上杉 勝己

私たち職業奉仕委員6名は、次のことを申し合わせました。

- ◎難しいものを解りやすく、解りやすいことを深くを方針とすること。
- ◎県内4ブロックに分けてセミナーを行うこと。
- ◎基調講演は6名の委員が行うこと。
- ◎講演内容はロータリーの中核となる価値観である奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップを職業に生かすことが職業奉仕であると位置付けて行う。

委員の勉強会を2回泊まりがけで行い深く学び

ました。

セミナーは

11月19日(土) 第5ブロック

11月20日(日) 第1・第2ブロックで行いました。

下期は第3・第4ブロックと第6ブロックで行います。

セミナーに参加出来ない会員の為、クラブの要請があれば出前卓話も行い、上期は17クラブからの要望があり委員全員で行いました。下期も要請があれば引き続き行います。

各委員の方々から大学受験以来の猛勉強であったとの話や、ロータリーの歴史が解らないと職業奉仕を理解することが出来ない等、とにかく真剣な上期で終わりました。

新世代奉仕委員会



新世代奉仕委員会・ 上半期を終えて

新世代奉仕委員会 委員長

鶴岡RC 佐藤 孝子

大変な2011年が終わり、2012年が始まりました。新世代奉仕委員会も上半期の行事を無事終了する事が出来、下半期の準備に向っています。

* インターアクト小委員会

8月2日九里学園高等学校がホスト校、米沢・米沢上杉RCがスポンサー

第21回インターアクト年次大会開催。

テーマ・地球で生きる一人として「今わたしたちにできること」

元海外青年協力隊員、九里学園教諭鈴木精先生の講演とクラブ活動報告

日帰り時間で短い中有意義な研修会でしたが次年度はぜひ例年のように1泊2日での企画をお願いしたいです。今年度地区外研修が出来なくて大変残念でした。次年度は有意義な地区外研修の開催を期待しています。

* 青少年交換小委員会

7月 ユタ州 羽黒高校 百瀬唯さん
余目RC、第2ブロックスポンサー
台湾 寒河江高校 遠藤奈菜さん
寒河江RCスポンサー 出発

来日学生は居ませんが、2人からは毎月留学先から報告書が届いています。

派遣候補学生は現在1名、鶴岡中央高校 石塚真奈さん 鶴岡西RC、第2ブロックがスポンサー、第2回オリエンテーションが終わっています。

現在ROTEX、OB会の組織作りに努力していますが地元に残っている方が居ないので大変苦勞しています。下半期も交換留学生在が近年減少傾向なので各ロータリークラブ、県内の高等学校への積極的な働き掛けをしたいです。

* 新世代フォーラム

今年度の委員会全体の目玉の行事であります、ロータリー公開講座～新世代フォーラム～が11月5日山形県民会館でインターアクト、ロータリーアクト、ロータリアンそして一般市民の皆様にも大勢参加して頂き盛会に開催されました。ガバナー補佐の時から熱い思いで暖めてきた細谷ガバナーの企画で宗教学者の山折哲雄先生の「震災と日本人」の演題での特別講演と食育こどもミュージカル「どんでん森は、どっきどっき」山形県立置賜農業高等学校演劇部の皆様が無敵一杯歌と踊りで楽しい舞台を見せて頂きました。休憩時間にはロビーで震災復興市を開催、売上は義援金とさせて頂きました。



下半期の行事予定

* ローターアクト小委員会

8月21日に第1回、12月4日に第2回会長、幹事会を開催。会員増強が進み地区全体がとても活発に大変パワーアップされこれから楽しみです。

5月26日に予定されている年次大会は南陽東ローターアクトがホスト、南陽東RCがスポンサーで開催されます。ぜひ大勢のロータリアンに参加して頂きローターアクトクラブを応援していただきたいと思ひます。

* ライラ小委員会

今年度は6月9日～10日 余目RCがスポンサー、第2ブロックが協力して北月山荘で19歳～30歳の社会人を対象に開催致します。

地区全てのクラブより推薦して頂きロータリアンと一緒に研修したいと思います。充実した内容で皆様に喜んで頂ける企画を現在検討しています。3月中には地区委員会よりご案内が配布されますのでご協力宜しくお願い致します。

昨年9月の「新世代の為の月間」では4クラブより卓話依頼を頂き感謝申し上げます。新世代育成の為何が出来るか、ロータリアンとして何をすべきなのかを一緒に真剣に模索して頂ければと思います。上半期のご協力のお礼と共に下半期のご協力をお願い致します。



上半期を終えて

ライラ小委員会 委員長

山形東RC **安孫子俊彦**

2011～2012年度のライラは、本年6月9日と翌日の10日に開催を予定しているため、その準備に向けた委員会の活動はこれからが本格的になります。

そこで、現段階において、委員会が計画しているライラの概要について報告致します。

近年、2800地区ではライラのあり方について見直しが唱えられ、また、規定審議会で新世代奉仕が第5の奉仕と位置づけられました。このような事情もあり、本年度は、ライラの本来の目的、すなわち、地域社会のリーダーとして囑望される若者を対象に、スキルと人格を養いながら、奉仕、高い道徳的基準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供するという目的を重視した研修プログラムを計画しております。テーマの選定にあたりましては、細谷ガバナーが掲げた地区目標、「育てよう、広めよう、思いやりの心」に留意して、検討を重ねています。

日程は前記のとおり6月9日(土)と10日(日)の一泊二日で実施する予定です。担当ブロックは第2ブロックで、ホストクラブは、余目ロータリークラブにお願いしております。

参加対象者は、19歳から30歳までの青少年とし、各ロータリークラブから地域社会のリーダーとして囑望される若者を1名以上推薦していただく予定です。

研修プログラムとしては、講演、グループ活動、体験学習、その他親睦を深める活動等を計画しています。

今後、ライラの開催に向けて計画をより具体化していきますが、委員一同情熱をもって邁進する所存ですので、各ロータリークラブの皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第2800地区インターアクト・クラブ 2011～2012年度 上半期を終えて

インターアクト小委員会 委員長

鶴岡東RC **佐藤 宏一**

今年度の活動は21回の年次大会を日帰りで行い、地区外研修は東日本大震災で中止になりました。年次大会は前年度に協議の結果、2012年8月2日米沢九里学園高等学校がホスト校になり、「伝国の杜・上杉城史苑」で開催されました。また11月5日に新世代・フォーラムが開催されました。

年次大会はテーマを「地球で生きる一人として」サブテーマ『今、わたしたちにできること』記念講演講師は元海外青年協力隊 鈴木 精氏(九里学園高等学校教諭)

活動Ⅰ・・・ワークショップ1

(カカオ農園の子供達)

活動Ⅱ・・・ワークショップ2

(自分たち国際協力アクションプラン)

(各学校ごと)

以上のようなプログラムで、参加者はインターアクトクラブ(学校関係102名)その他地区役員・各クラブ関係者多数出席で行われました。

今回は特にアクターの生徒さん達には鈴木講師のアフリカでの海外協力体験を通してアフリカの極貧で生活する子供たちに深く考えさせられたようで意義深い大会と思われました。

新世代フォーラムは11月5日山形市民会館で13:00より行われました。特別講演の講師を宗教学者の山折 哲雄氏をお迎えして「震災と日本人」の演題でお話をいただきました。その後プログラム②として置賜農業高校 演劇部の「どんでん森は、どっきどき」・・・食育子どもミュージカル・・・が公演されました。山折先生のお話は、新世代への教育はどうあるべきか、目に見えないものとの繋がりについてお話がありました。





上半期を終えて

ローターアクト小委員会 委員長
米沢上杉RC 佐藤 洋行

細谷伸夫ガバナーは、今年度第5の奉仕部門として新世代委員会を設立され、新世代の育成・思いやりの心の育成を重点目標の一つに掲げられました。

地区内に6つあるローターアクトクラブは、近年厳しい状況が続いていますが、東日本大震災の発生直後から各々RACメンバーは我先にと行動を開始しています。

当RA小委員会は、8月21日に「RA第1回会長幹事会」を山形市千歳公民館で行いました。翌9月3日～4日には「アクトの日」を鶴岡で開催いたしました。また、9月18日には茨城県つくば市で行われた「第12回RA第1ゾーン代表者会議」に出席して参りました。12月4日は「RA第2回会長幹事会」を千歳公民館で行いました。

今年度地区代表の南陽東RACでは、地区RA新聞の企画等々、佐藤卓也会長はじめメンバーの皆さんが活発な活動をしています。ローターアクトに限らず、若い世代を取り巻く現状が大変厳しい中、新世代への活動支援は、地域社会・国際社会においてますます重要になっています。

下半期の活動についても、ライラやインターアクトと連携を持ち、次年度に繋がるよう取り組んで参りたいと思いますので、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。



上半期を終えて

青少年交換小委員会 小委員長
鶴岡南RC 斎藤 秀紀

細谷年度にアメリカのユタ州と台湾に派遣した2名の学生は、夫々の国の異文化に接し、エキサイティングしながら多くの事を学んでいます。また、現地の学生は元より、世界各国の留学生達とも親交を深め、ホストファミリーのご家族と一緒に有意義な生活を送っています。残すところ6ヶ月余りの留学生活ですが、ロータリーの親善大使として立派に役目を果し無事帰国する事を願っています。

尚、このプログラムは派遣と受入れをワンセット (two-way)で行いますが、3.11の震災の影響を受け、今回は派遣のみ (one-way) と残念な結果に

なりました。そのうえ、2009—2010年度に派遣学生がおられなかった為、今年度は、来日学生 (インバウンド) ・帰国学生 (ROTEX) がゼロと言う異例な事態での船出となりました。

この様な状況の下、今年度の留学希望者を県内全校に募ったところ、第二ブロックから1名の応募者しかおらず、年々減少傾向にある参加者に早期に手を打たなければと考えています。尚、今回の応募者については、9月の選考委員会で派遣候補学生として認定され、何とか1名は派遣できる見通しが立ち安堵しているところです。

現在は、今年度予定している6回のオリエンテーションの中で、2度の研修を終え、ロータリーの知識や、留学に際してのルール、危機管理について教育指導を行いました。次回は派遣の際、最も重視される申請書の作成と確認作業を行い、順次、留学に必要な研修や手続き等を行ってまいります。しかし今年度は、ROTEXとインバウンドがない為、体験に基づいた生きた指導が出来ず、派遣候補学生には申し訳ない思いで研修に当たっています。このハンデは、第4回のオリエンテーションで参加する、東北多地区合同スプリングキャンプで穴埋めしたいと考えています。

次年度の交換については、現在派遣している台湾斗南RC (次年度は受入のみ) と、以前から実績があるアメリカ・オレゴン州と交渉を進めています。これに伴い、スポンサークラブに名乗りを上げている寒河江RCと、鶴岡4RCと詰めの作業を行っています。

上半期を終え、当地区の青少年交換活動には様々な案件があり、現状のままでは衰退する一方ではないかと考えています。今求められる事は、この活動に対する各クラブの認識と、県内各校・生徒への啓蒙活動、ROTEXの組織作りが必要と思います。これから当委員会として為すべき事の一つ一つ実行し、価値ある奉仕活動を継続的にやる体制を構築してまいりますので、会員皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

国際奉仕委員会



上半期を終えて

国際奉仕委員会 委員長
米沢RC 和田 實

今年度の国際奉仕委員会は、地区独自の「国際社会奉仕」WCS事業を担当しています。各クラブからお預かりした「WCS基金」を各クラブか

らの要請に基づき配分する役割を担っています。

数年掛りで継続したネパールでの事業が一段落した事から、地元で窓口を担当して戴いた方に感謝状と記念品を贈呈しました。

R I ではWCS事業をロータリー財団に移牒しましたが、財団とは別の立場から各クラブの国際社会奉仕を地区として支援する考えです。予算に限界がありますが、引き続き各クラブからの要請をお待ちしています。



上半期を終えて

世界社会奉仕(WCS)小委員会 委員長
東根RC 松浦 秀文

細谷ガバナーの年度に入って半年、12月17日(土)に山形グランドホテルにおいてガバナー補佐・委員長会議が開催され、委員会の中間報告をおこなってまいりました。

今年度からR I に於いてはこのWCS委員会も財団に移管されたわけですが、我々の細谷ガバナーは地区単独で存続してくだされ、お陰さまで各クラブで取り組んでおられるWCSの継続事業に対して多少なりともお手伝いをさせて頂くことが出来ました。

そもそもこのWCS事業は、2カ国以上の国のロータリークラブが共同で社会奉仕をする事業であり(マッチング グランド)今年度も数件のプロジェクトに対して支援の要請がありました。そこで国際奉仕委員会ならびにWCS小委員会にて検討し、世界の子供たちの笑顔のために協力をさせて頂きました。

その中で天童東RCが取り組んでおられる2005年からの継続事業、タイ、バンコクの小学校に浄水器と書籍やサッカーボール等の寄贈で「きれいな水をタイの子供たちへ」をテーマに掲げ、マッチンググランド事業が今年も行われました。今年で6年連続の参加で日本側からは8クラブ、タイ側からは3350地区のスリーウオンRCをはじめ他5クラブで今年度は25の小学校に浄水器が贈られ、バンコク市内のマンモス校「ワット・テプラー校」(生徒数1448名)にて贈呈式がおこなわれた。

世界社会奉仕委員会に対し、支援を行った後のすべての報告書のなかで心を打たれるのは「子供たちの感謝の微笑みが何ともかわいらしく!」「恵まれない子供たちの笑顔を見て胸がいっぱい!」そしてまた来年も……。

そんな気持ちになってはじめてWCS事業に参

加して良かったと言うことではないでしょうか。

第2800地区のロータリアンの皆様も、もし自分たちのクラブで世界社会奉仕事業に取り組んでおられなかったら是非食わず嫌いにならないでチョツとかじってみませんか。

恵まれない子供たちに笑顔を与えられますよ。

ロータリー財団委員会



上半期を終えて

地区ロータリー財団委員会 委員長
未来の夢計画準備委員会 委員長

鶴岡西RC 池田 徳博

1. 平成23年7月16日、地区財団セミナーを開催。新地区補助金制度の説明と、GSEの1560地区(オランダ)からの帰国報告を受けました。
2. GSEについては、1560地区(オランダ)との交換で、同年5月21日に、2800地区から、リーダー1名・チームメンバー3名が派遣されました。約1ヵ月の滞在で、同年6月20日帰国しました。受け入れは、平成24年3月26日から同年4月22日までとなっています。なお、2530地区への、放射線量測定器を、1530地区と2800地区並びに2530地区とで、マッチング・グランドを組んで、実施したことから、同GSEメンバーの郡山の視察が予定として組まれました。
3. 地区補助金については、8クラブからの人道的プログラムの申請があり、継続的プログラムに該当する申請については、その50%を、新規の分については、その全額を承認されました。合計金2,271,250円が交付されています。
4. 財団奨学生については、平成23年8月7日に選考試験会が行われ、応募者5名のうち2名が合格となり、各派遣先に、来年7月ごろを目処に、派遣される予定です。
5. ポリオ撲滅のための「2億ドルチャレンジ」については、諮問委員会の承認をいただけた場合、DDF残のうちの、2万ドルを、さらに、寄贈する予定です。
6. 次年度においては、GSEの派遣及び財団奨学生の派遣は行わず、2013-2014年度の新地区補助金制度の実施の準備にかかります。2年計画とされているため、2012-2013年度に委員会態勢を整え、来年2月から、具体的な準備を進めたいと思います。新たな、補助金(新地区補助金及びグローバル補助金)による、奉仕プロジェ

クト・人道的プロジェクト・奨学生の派遣等のご案内を急ぎたいと思います。

7. なお、2月4日に、第2回の地区財団セミナーの開催を予定しております。



上半期を終えて

ロータリー財団奨学金学友小委員会 委員長
山形中央RC 遠藤 隆一

2011年3月11日の東日本大震災は東北地方のみならず、日本全体に大変な被害、影響を及ぼしました。我々山形県のロータリークラブの活動にも、そしてメンバーの行動にもそうであったと思います。そんな状況の中で、細谷伸夫ガバナー年度（2011～2012）が始まりました。

新年度が始まって、ロータリー財団委員会の初期の段階での重要な任務の一つであるロータリー財団国際親善奨学生選考試験が実施されたのは、山形市が花笠祭りで賑わっている8月7日（日）、山形グランドホテルに於いてでした。例年通りのことですが、新聞広告や、国際ロータリーのウェブサイトを通しての申請者の募集、申請書類の整備を経て当日集合していただいたのは5名の受験者の方々でした。ロータリークラブ会員の皆様には、既知のことと思いますが、ロータリー財団のプログラムは2013年7月より全世界において大きく変更になります。「未来の夢計画、Future Vision Plan」と呼ばれる制度になります。したがって、これまでの形態での奨学生の派遣は今年度が最後になりそうです。

さて、今年度の志願者も、現役の大学生から、既に国際的な奉仕活動に参加している方、当日は欠席になりましたが、外国に居住して勉強しておられた外国からの受験者と、多士済々でした。小論文、英語、留学希望国の言語の試験、そして面接と、山形大学、東北大学の先生方、そしてロータリークラブからは、ガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクト、財団委員会委員長、奨学金学友小委員会委員長に試験官になってもらいました。可能性に溢れている若人に、出来るだけの機会を提供できるようにとの基本方針・姿勢で運営しているわけですが、結果として、今年度は2800地区から、小林主茂君（山形南RC紹介）と、大竹舞さん（南陽東RC紹介）の2名の申請を認めることとしました。両君のこれからの活動に期待したいと思っています。



上半期を終えて

ロータリー財団委員会GSE小委員会 委員長
鶴岡RC 嶺岸 禮三

GSE小委員会では、平成23年10月29日（土）に第1回の委員会を開催し、国際ロータリー第1560地区（オランダ）GSE来日チームを迎える準備を本格的に開始しました。

オランダは経済、福祉・医療、社会インフラなど各方面にわたって日本よりも一歩先をゆく先進国であり、職業研修を準備するのに難しい面がありました。しかし彼らチームメンバーは若い職業人なので当2800地区内企業・団体から学ぶべきことが多くあるはずで、また、文化研修では驚きと感動の体験を多くすることでしょう。更にロータリアン始め山形県民との触れ合いは彼らにとって貴重な生涯の友との出会いの場となるでしょう。そんな実りある研修となるよう委員会一丸となってサポートして参りますので、各ブロック、ガバナー補佐の皆さん、会長・幹事さん、ロータリー財団委員会の皆さん、地区内全てのロータリアンの皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

12月26日に第3回の委員会を開催し、各ブロックから研修日程表とホストファミリーの情報を提出いただきました。各ブロック間の重複事項や不足などを調整し、1月20日までにロータリー財団と1560地区にホストファミリーの情報を含めた「研修日程表」を送信しなければなりません。期日が遅れるとR財団の認定が下りず、オランダチームに迷惑がかかることとなりますので、今ぎりぎりの作業をしているところです。この作業が終わると、各ブロックでホストファミリーを引き受けて頂いたご家庭にオリエンテーションを実施し、不安なくメンバーを迎えて頂くお手伝いをさせていただきます。

これまでのGSEチームと違うのは、東日本大震災と言う未曾有の大災害後に来日するという事です。当地区が福島援助のため、オランダ1560地区と福島2530地区と一緒に実施したマッチンググラントの視察もチームのミッションです。また、リーダーはシェルターボックスのオランダ責任者として岩手に400個の災害用シェルターボックスを送った方です。その視察も希望があるので実現に準備を進めています。

米山奨学委員会



上半期を終えて

米山奨学委員会 委員長
山形RC 小嶋 信一

報告事項

- 現在の奨学生数は、新規6名（当初は7名でしたが1名が帰国退学した）、継続4名の計10名です。
- 上半期の事業は下記の通り終了しました。
 - 4月9日(土)
地区協議会米山部会（山形テルサ）
 - 5月7日(土)
新規米山奨学生オリエンテーション、
カウンセラー研修会（パレスグランデール）
 - 8月20日(土)
米山奨学セミナー兼カウンセラー研修会
（ホテルメトロポリタン）
学友会役員会及び第三回総会
- 今年度の今後の予定は以下の通りです。
 - 1月14日(土)
次期奨学生選考試験（パレスグランデール）
 - 2月11日(土)
米山奨学生期間修了者の歓送会
（パレスグランデール）
 - 5月12日(土)
新規米山奨学生オリエンテーション、
カウンセラー研修会（パレスグランデール）

今年度は、3月11日の大震災、大津波、原発事故等の災害があり帰国する奨学生が多数いるのではないかと心配しましたが、帰国のため奨学金を辞退した奨学生は一名に留まりました。

奨学生の中には、国で習った日本と実際に生活して知った日本とは全く違う人も多く、ずっと日本に住みたいという人もいます。米山奨学生度は、アジアの方々に本当の日本と日本人の心を知って貰うことが出来るとても優れた制度です。

しかし、世界では個人と個人が解り合い強い絆を築いても、国と国との争いが個人同士の絆がいくら強くても無視されてしまうのが常識です。昨年の学友会主催の「多文化交流コンサート」のステージに、国益と宗教の争いが壁になってどちらの国でも自国では絶対に出来ない結婚を、日本で実現したカップルが登場して、出席者全員が心からの祝福を送ったのでした。

島国という地理的条件の影響かも知れませんが、他国に比べて、出身国や宗教に対して偏見がとて少ない日本という国、そしてそういう日本人の心について、我々日本人自らが自覚しその良さを心に秘めることが、日本の真の強さになるのではないのでしょうか。

上半期の事業にご指導とご協力をいただいたガバナーをはじめ関係各位に御礼を申し上げ、下半期の事業につきましても、さらによろしく願いたします。



米山学友会 主催

山形から世界へ—— 多文化交流コンサート

国際ロータリー山形米山学友会 会長 尤 銘煌



「留学生の演奏や、民族舞踊、歌などにより世界平和を祈願し、地域の国際化を目指す」という趣旨で第2回目の多文化交流コンサートを開催した。16ヶ国35名の出演者で構成されたプログラムは約300名の観客を魅了して会場を沸かせた。2012年1月17日の山形新聞・朝刊などにも報道された。「昨年度、日本では、東日本大震災がありました。多文化交流コンサートを通して、会場の皆さんとともに復興を願い、少しでも元気を与えるようなコンサートになったら、嬉しく思っています。」という挨拶で締め括った。

ガバナー公式訪問

— 細谷ガバナー行脚 —

2011年12月8日(木)

山形北ロータリークラブ

庄司 建郎 会長 浅黄 敬之 幹事

クラブテーマ

歩き続けよう
博愛と奉仕の心をもって

12月8日(木)、細谷ガバナー、本多ガバナー補佐、浦山地区副幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会が行われました。

例会に先駆け、11時より会長・幹事会を開催いたしました。会長・幹事会には当クラブの細川会長エレクトと奥山副会長にも同席して頂きました。庄司会長から当クラブの事業方針や事業内容など一通りご説明申し上げた後、細谷ガバナーからはクラブ運営方針について様々なご意見やご指導をいただきました。主に当クラブの次期リーダー育成について熱心なご指導をいただきました。とりわけ若手リーダー

育成プログラムの充実や、当クラブからの次期ガバナー候補の育成についてご指摘をいただきました。

例会では細谷ガバナーよりロータリー財団からの「ポール・ハリスフェロー」表彰で当クラブ該当会員に襟章を授与して頂いた後、卓話をしていただきました。卓話ではロータリー活動の地域社会への情報発信の重要性や、ロータリアン同士が活発に意見を述べ合う討論会や研修会の重要性などを中心に卓話をしていただきました。

細谷ガバナーの卓話は、クラブ会員の心に深く浸透していき、今後のクラブ運営の指針となりました。細谷ガバナーからは大変有意義なお時間をいただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



2011年12月12日(月)

中山ロータリークラブ

石川 廣夫 会長 小松 努 幹事

12月12日(月)細谷ガバナー、本多ガバナー補佐をお迎えしガバナー公式訪問例会が開催されました。

当日は、10時より中山町長へ表敬訪問を行い、その後、会長・幹事会が行われました。当クラブは少人数であることも有り、会長・幹事会には役員も参加し懇談がなされました。その中で年次報告書・年次計画書をもとに委員会の数や役割、事業の収支のことや、ニコニコ収益の扱いなど踏み込んだアドバイス、助言をいただきこれから見直し検討すべき事が見えてきました。

その後例会を12時15分より進め、本多ガバナー補佐から挨拶をいただき、細谷ガバナーの熱意ある卓

話をいただきました。その中では、R I スローガンやロゴマークの持つ意味なども詳しく説明いただきました。また、『ロータリーの活動は町が求めていることを、その活動が広報に繋がり会員増へと結びつく』ことやその手法など今度の中山ロータリークラブにおいての活動の指針となる貴重なお話を頂き有意義なガバナー公式訪問例会となり、ガバナー並びにガバナー補佐には心より御礼申し上げます。



— 東日本大震災からの一日も早い復興を祈念して —

デジタルコミュニケーション

坂部印刷株式会社

代表取締役 坂部 登 (山形西RC)

FUJIMACHINE



情熱はいつも最先端

フジマシン工業株式会社

本社・工場 / 山形市錦川町二丁目3-24 TEL 023-622-6810
立谷川工場 / 山形市十文字蓮北3455 TEL 023-687-2167 FAX 023-687-2419
埼玉営業所 / 埼玉県東松山市神明町二丁目12-27 藤村ビル401号 TEL 0493-23-9568

2011年12月21日(水)

山形ロータリークラブ

伊藤 吉明 会長 長谷川憲治 幹事

12月21日細谷伸夫ガバナー・本多信昭第5ブロックガバナー補佐をお迎えし、会長・幹事会、引き続き公式訪問例会が開催されました。

ご挨拶の冒頭には、伊藤会長とガバナーの似顔絵ラベルのお酒を頂きました。

公式訪問例会のお話の中では、61周年を迎える山形ロータリークラブは、14クラブを創設するなど言わば第2800地区のリーダーであり、今後より一層の活躍について期待のお言葉を頂戴しました。

また今年度のR Iテーマ「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」は読んで字の如くで、皆様の心の中を見つめて下さい、そしてそこにロー

タリーというものがありますかと問うて下さい、と言っております。そして心の中にロータリーがありましたら、それを博愛という形にして世界に広めて欲しいということだとお話頂きました。

お話をお聞きし、我々ひとりひとりがロータリーの原点に立ち返り、一番簡単で効果的な「自ら思いやりの心を持って活動すること」を実践しながら「楽しいロータリーライフ」を満喫することを誓ったガバナー公式訪問例会でした。



2011年12月26日(月)

山形西ロータリークラブ

小松 公博会長 結城 和生 幹事

本年度最後の細谷伸夫ガバナー公式訪問が12月26日(月)ホームクラブである山形西ロータリークラブで行われました。

例会に先立ち、会長・幹事との懇談会では、クラブの方針と活動計画について意見交換を行い、クラブの歴史やこれまでの活動、会員の規模などを俯瞰した適切な指導とアドバイスを頂きました。とくに地区で最も多くの会員を有し信頼と協調の厚いクラブとして、さらに対外的に積極的な活動を求められた。今後の震災支援等に向けた活動を促された思いでした。

例会では、R I会長のテーマと強調事項について、またガバナーの地区目標である「思いやりの心を

育て 広めよう—自分に、家庭に、地域に、世界に一」と掲げているように、ロータリーの中核をなす職業奉仕は思いやりの心であり、R Iテーマの「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」と相似するものであり、それをもって人の心を動かし感動を共有しうる社会を作っていこうと力説された。

年末の例会でしたが、細谷ガバナー公式訪問への慰労と歓迎を込めて、100%出席を達成しました。



— 東日本大震災からの一日も早い復興を祈念して —



山形中央ロータリークラブ

創立20周年記念式典・懇親会
平成24年10月6日(土)

皆様のご参加をお待ちいたしております

曹 岡 宗

登鱗山 龍 門 寺

任 職 岡 田 宏 道

〒990-0822 山形市北山形2-3-7
TEL 023-644-7220

米山功労者



安藝 栄祥君
所属クラブ：米沢中央RC
職業分類：宗教



野川 勝弘君
所属クラブ：天童RC
職業分類：セメント自転車卸小売業



山本 晃君
所属クラブ：天童RC
職業分類：農機具販売

ポールハリスフェロー



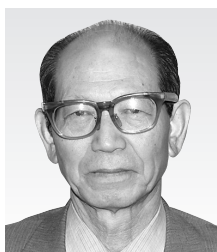
武田 幸夫君
所属クラブ：天童RC
職業分類：ファイナンシャルプランナー



渡辺 正敏君
所属クラブ：天童RC
職業分類：左官業



マルチプル(5)
庄司 建郎君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：商業ビル賃貸



マルチプル(4)
五十嵐 稔君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：税理士



マルチプル(4)
熊谷 誠君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：民事弁護士



マルチプル(4)
中村 昂三郎君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：水産物卸業



マルチプル(4)
本多 信昭君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：アルミ製品製造



マルチプル(3)
諸橋 哲郎君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：商業弁護士



マルチプル(2)
五十嵐 健君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：砕石業



マルチプル(2)
小関 眞一君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：自動車販売業



マルチプル(2)
近藤 勝昭君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：ビル管理



マルチプル(2)
矢萩 紘一君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：食料品販売



マルチプル(1)
浅黄 敬之君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：綿製品製造



マルチプル(1)
伊藤 明彦君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：公認会計士



マルチプル(1)
伊藤 三之君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：少年弁護士



マルチプル(1)
小野 和行君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：建設業



マルチプル(1)
斉藤 庄吉君
所属クラブ：山形北RC
職業分類：軽自動車販売

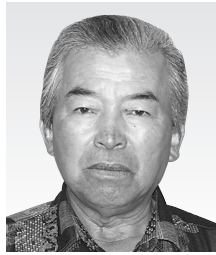
ポールハリスフェロー



マルチプル(1)
菅原 智美君
 所属クラブ：山形北RC
 職業分類：料亭



マルチプル(1)
中村 恒一君
 所属クラブ：山形北RC
 職業分類：砂糖販売



マルチプル(1)
原田 正作君
 所属クラブ：山形北RC
 職業分類：飲食業



後藤 寛君
 所属クラブ：山形北RC
 職業分類：公認会計士

記載もれが
 ありましたら、
 ガバナー事務所まで
 お知らせ下さい。

新入会員の紹介



わた なべ まさ かず
渡辺 政和君
 所属クラブ：天童RC
 入会日：2011.3.1
 職業分類：旅行業



おお や つね お
大矢 常夫君
 所属クラブ：天童RC
 入会日：2011.5.14
 職業分類：電子機器製業



かば まさ とし
樺 正俊君
 所属クラブ：天童RC
 入会日：2011.5.14
 職業分類：生命保険



くま ざわ てい じ
熊澤 貞二君
 所属クラブ：天童RC
 入会日：2011.7.8
 職業分類：運輸・倉庫



あび こ きょう
安彦 京君
 所属クラブ：酒田スワンRC
 入会日：2012.1.1
 職業分類：介護用品レンタル・販売



くのり ひろ し
九里 廣志君
 所属クラブ：米沢RC
 入会日：2012.1.12
 職業分類：私学経営



ほり かわ しゅんいち
堀川 俊一君
 所属クラブ：米沢おしょうしなRC
 入会日：2012.1.16
 職業分類：車内装品企画製造販売



とう かい りん しげ かつ
東海林 茂勝君
 所属クラブ：遊佐RC
 入会日：2012.1.1
 職業分類：稲作栽培



お ぜき ひとし
尾崎 仁君
 所属クラブ：米沢上杉RC
 入会日：2012.1.17
 職業分類：食肉販売



かば さわ よし こ
椋沢 芳子君
 所属クラブ：米沢中央RC
 入会日：2012.1.18
 職業分類：日本料理

山形南RCは40歳になります

1972年2月22日に山形南ロータリークラブは誕生しました。山形の2月は雪で一番寒い時期です。クラブ創立40周年式典と祝賀会を、季節の良い5月に行います。皆さま、ぜひご参加ください。

2012年5月19日(土) ホテルキャッスル

- 15:00 登録開始
- 15:30 創立40周年記念式典
- 16:30 記念講演 金森義弘氏(財)(山形県体育協会会長)
- 17:30 記念演奏会 (キラキラ会)
- 18:00 祝賀会

クラブ会員数／出席率

ブロック	No.	クラブ名	2011.7.1 会員数	内女性 会員数	2011.12.30 会員数	内女性 会員数	年初からの増減数		12月 出席率	年初からの 平均出席率
							増	減		
第1ブロック	1	酒田	38	3	37	3		1	82.35	86.00
	2	酒田東	32	3	34	3	2	0	82.80	85.09
	3	遊佐	11	0	11	0			95.46	90.54
	4	酒田中央	38	0	38	0			70.71	82.92
	5	酒田スワン	17	6	15	4		2	100.00	100.00
	6	酒田湊	17	2	16	2		1	82.08	90.15
第2ブロック	7	鶴岡	37	5	39	5	2		75.64	81.26
	8	鶴岡西	33	4	33	4			80.31	87.27
	9	余目	26	0	26	0	1	1	88.12	81.12
	10	立川	16	0	16	0			85.93	84.81
	11	鶴岡東	36	1	36	1			72.92	73.93
	12	鶴岡南	24	4	24	4			73.96	73.93
第3ブロック	13	天童	42	1	42	1	1	1	92.32	91.62
	14	東根	36	0	37	0	2	1	78.38	82.55
	15	天童東	48	0	48	0			89.86	80.64
	16	天童西	20	0	20	0			91.67	92.29
	17	東根中央	37	1	37	1			88.50	87.65
	18	村山	14	0	13	0		1	96.15	96.30
	19	新庄	19	2	20	2	1		86.25	85.14
	20	尾花沢	18	0	18	0			93.00	78.26
	21	最上	20	1	20	1			63.33	57.00
	22	尾花沢中央	16	0	16	0			87.50	92.45
	23	村山ローズ	21	5	21	5			78.60	72.23
	24	新庄あじさい	20	0	20	0			85.00	88.78
第4ブロック	25	寒河江	49	0	49	0	2	2	96.58	89.58
	26	大江	20	1	20	1			89.73	94.18
	27	河北	30	0	30	0	2	2	92.76	86.86
	28	寒河江さくらんぼ	34	2	34	2			90.30	92.14
	29	西川月山	16	1	15	0		1	88.89	82.76
第5ブロック	30	山形	86	0	92	0	8	2	97.31	97.97
	31	山形北	70	0	72	0			99.61	99.33
	32	山辺	28	0	25	0	1	4	96.15	96.86
	33	山形南	53	1	53	2	2	2	99.29	99.34
	34	中山	15	0	16	0	1		68.75	77.54
	35	山形西	99	0	98	0		1	92.05	88.92
	36	上山	11	0	10	0		1	93.33	89.57
	37	山形東	38	0	38	0			94.96	94.24
	38	山形中央	36	4	35	4		1	83.82	85.13
	39	山形イブニング	30	0	30	1	1	1	80.00	76.49
	第6ブロック	40	米沢	43	6	48	6	6	1	92.35
41		米沢上杉	45	2	46	2	2	1	95.74	97.08
42		高畠	48	3	48	3			80.73	80.12
43		米沢中央	36	4	36	4			98.15	98.38
44		米沢おしょうしな	28	1	28	1			95.24	93.77
45		川西ダリア	9	0	9	0	1	1	65.00	65.98
46		長井	34	1	32	1	1	3	89.40	92.20
47		南陽	20	4	19	4		1	100.00	92.35
48		白鷹	17	0	17	0			84.30	92.87
49		小国	16	0	16	0			78.47	81.19
50		南陽東	42	0	43	0	1		83.33	75.88
51		長井中央	20	0	20	0			92.50	92.38
52		南陽臨雲	30	1	28	1		2	85.05	64.93
合 計			1639	69	1644	68	37	34	87.01	86.39

日曜日	地区行事
2/1	水
2	木
3	金
4	土 職業奉仕セミナー 第3.4ブロック(天童市)
5	日 全国RYLA研究会
6	月
7	火
8	水
9	木
10	金
11	土 建国記念の日 米山奨学期間修了者歓送会
12	日
13	月
14	火
15	水
16	木
17	金
18	土 エレクト新規ガバナー補佐委員長会議(南陽市)
19	日
20	月
21	火
22	水
23	木
24	金
25	土 第5ブロックI.M.(山形北RC)
26	日
27	月
28	火
29	水
3/1	木
2	金
3	土
4	日
5	月
6	火
7	水
8	木
9	金
10	土

GOVERNOR'S Monthly Letter

2012. February 2月の地区スケジュール

山形探訪

Yamagata
Tanbou



■山形西ロータリークラブ創立30周年記念事業

少女の像「燭」ブロンズ

さわやかな春の光をうけて、
社会の一隅に光を。

- ・作者：彫刻家 佐藤 助雄氏 (山形市出身)
- ・設置場所：山形美術館前庭中央
- ・設置年度：昭和62年4月(1987)

山形市内7RC寄贈の
モニュメントを順次紹介いたします。



国際ロータリー第2800地区

2011-2012年度ガバナー

ガバナー事務所

〒990-0041 山形県山形市緑町1-9-30 緑町会館3F
TEL.023-674-9777 FAX.023-674-9778

細谷 伸夫

【今回の表紙】

冬の「宝紅庵」と庭園(山形市)

[写真撮影] 松村スタジオ